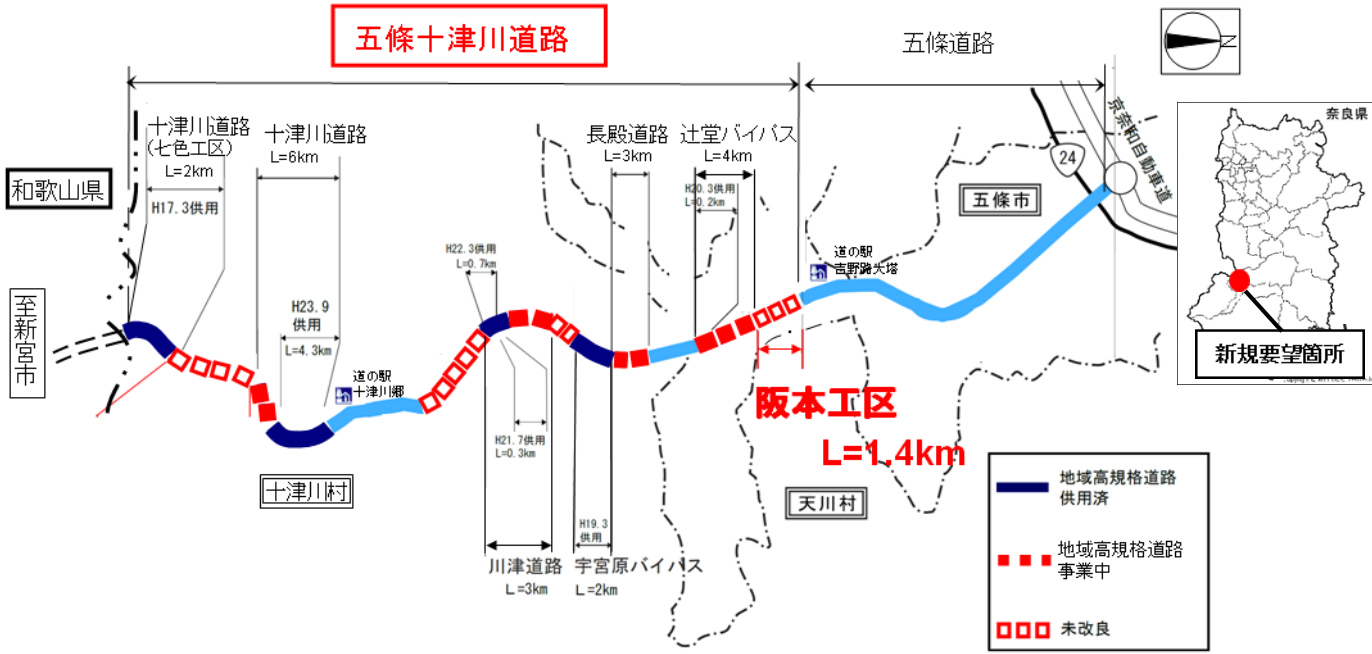


事業名		補助道路整備事業		路線名等		一般国道168号	
箇所名		五條市大塔町					
事業の概要	目 的	災害時における地域の孤立や物資輸送・救急活動ルートの分断を防ぐ「紀伊半島アンカールート」の一部を形成する一般国道168号 五條新宮道路の早期整備を目的とする。					
	事業内容	延長：約1.4km 計画諸元：2車線 幅員8.5m 事業内容：バイパス整備					
	着手年度	平成25年度	完成予定年度	平成32年度	全体事業費	約4,000百万円	
定性的評価	事業の必要性	災害に強い紀伊半島を実現するため、災害時における地域の孤立や物資輸送・救急活動ルートの分断を防ぐ「紀伊半島アンカールート」早期確保が課題である。 特に、当該区間はアンカールートの中でも整備水準が低く、幅員は狭小で、すれ違いが困難な状況にある。 紀伊半島大水害では、規格の高い道路は被害を免れ避難路及び緊急輸送道路として大きな役割を果たし、規格の高い「地域高規格道路」としての整備の必要性を改めて認識したところ。 【必要性】 ①異常気象時や災害による通行止めの解消（現況交通量は、2,337台/日（H22道路交通センサス）） ②救急医療搬送等の速達性の確保 ③十津川及び野迫川方面へのアクセス性向上 【緊急性】 ①紀伊半島大水害からの復旧・復興 ②広域的な緊急輸送道路の確保					
	上位計画等	・「奈良の今後5ヶ年（平成21年度～平成25年度）の道づくり重点戦略」（H20.12） ・「奈良県紀伊半島大水害復旧・復興計画」（H24.3） ・「奈良県紀伊半島大水害復旧・復興計画アクションプラン」（H24.3）					
	事業の有効性 （事業により予想される効果及び影響）	【費用対便益】B/C=1.9 【便益に計上されていない効果】 ①「命の道」としての役割発揮 ・通行止めの回避、生活・医療物資の供給、災害救助に向かう車両の通行確保 ②安心な住民生活の提供 ・現道沿いの線形不良箇所（半径60m未満）や防災危険箇所の回避により、走行性の悪さや道路の分断の危険性を解消することができ、救急医療搬送等の輸送性が向上 ③観光産業等の地域産業への寄与 ・通行止めによる観光産業（十津川温泉等）など地域産業への大打撃の回避 ④物流等、地域・広域経済への寄与 ・大型車の通行確保、物流支援、通行止めによる通勤・通学への影響の回避					
	コスト縮減への取組み	・道路端の側溝に既製品を採用 ▲10百万円					
	地元情勢等	・内吉野土木協議会、国道168号（十津川・本宮間）整備促進協議会が五條新宮道路の早期整備を要望（H24.8,H24.10） ・国道168号（五條・新宮間）整備促進協議会が紀伊半島アンカールートの早期確保について要望（H24.8）					
	他計画他事業との関連	・十津川道路Ⅰ期、長殿道路（直轄権限代行事業） ・辻堂バイパス、川津道路（補助事業）（H27供用目標）					
評価結果		左 の 理 由					
採択		「紀伊半島アンカールート」早期確保の観点から重要な事業であるため、採択とする。					

【位置図】



【写真】



① 現道の国道168号（阪本橋）



② 幅員が狭く、すれ違いが困難なトンネル



③ 対向車とのすれ違いが困難な状況



④ 野迫川村へ通じる(主)高野天川線(中原橋)